

【概要版】京都府中小企業技術センター アクションプラン

1. 背景・目的

- 技術革新の進展により、企業を取り巻く環境が変化し、技術課題の高度化・複雑化が進展
- 特に中小企業では、研究開発や設備、人材面で制約があり、単独での対応が難しい分野が拡大
- また、課題解決に加え、新たな製品・技術の創出に向けた取組が求められる

→こうした状況を踏まえ、中小企業の技術課題の解決から新たな価値創出までを支援するため、中技センの役割および取組の方向性を整理した本プランを策定

2. 計画の位置づけ

- 今後10年間を見通した中長期的な視点に立ち、中小企業に対する技術支援の強化に向けた取組を体系的に整理するもの
- 関係機関との連携のもと、取組を一体的に推進するための指針

3. ビジョン（目指す姿）

“技術で中小企業の挑戦を支える中核拠点”

- 技術課題の解決から研究開発まで一貫して対応
- 企業に寄り添う伴走型の技術支援を展開
- 関係機関と連携し、課題解決と新たな価値創出を支援

4. 取組の方向性と具体的アクション

本プランに基づき、当面の3か年間で重点的に取り組む方向性と7つの具体的アクション

(1) 課題発掘型支援の高度化と伴走支援の強化

① 大学等との試験検査機器の相互活用体制の構築

- ・ 大学・研究機関と機器を相互利用する体制を構築
- ・ 企業が課題に応じて最適な設備を選べる仕組み整備
- ・ 地域全体で技術支援機能の底上げを図る

② デザイン的アプローチによるイノベーション・課題解決の強化

- ・ 企業との対話を通じて課題や強みを整理し、課題構造を明確化
- ・ 外部デザイナー等と連携し、構想具体化や検討支援
- ・ 構想づくりや共創の場を通じて、新たな取組の方向性を形成

③ 提案型研究開発の推進

- ・ 企業訪問等により潜在的な技術課題を把握・整理
- ・ 課題に応じた技術提案を行い、研究開発テーマとして具体化
- ・ 大学等と連携し、研究開発から実用化に向けた取組を推進

(3) 技術人材の確保・育成と支援力の持続的向上

⑥ 公設試職員のキャリアパス再設計

- ・ 必要とされる専門分野やスキルを整理し、育成の方向性を明確化
- ・ 職員の経験や能力に応じたキャリアパスを設計
- ・ 専門性の維持・高度化に向けた人材育成を計画的に実施

(2) 成長分野への展開支援とオープンイノベーションの促進

④ 府政重点分野での関係部局等との連携強化

- ・ 半導体・フードテック等の府政重点分野に対応した技術支援を実施
- ・ 関係部局や支援機関、大学等と連携した支援体制を構築
- ・ 政策と連動し、技術面から施策の推進に参画

⑤ 京都大学等との半導体開発支援体制の構築

- ・ 京都大学等と連携し、試作から評価までの支援体制を構築
- ・ 大学の試作機能とセンターの評価機能を活かした支援を実施
- ・ 開発段階に応じて、企業の取組を技術面から支援

⑦ 人事交流等の拡充による技術支援力の強化

- ・ 大学・企業・研究機関との人事交流を実施し、現場経験や知見を蓄積
- ・ 外部との連携を通じて専門性や技術動向への理解を深化
- ・ 得られた知見を活かし、組織全体の支援力の向上を図る